

太陽光発電設備「そらべあ発電所」を幼稚園・保育園に寄贈します

ー第43回「そらべあスマイルプロジェクト」の公募を開始ー

2017年1月18日、NPO 法人そらべあ基金(代表理事・富田秀実)は、全国の幼稚園・保育園に太陽光発電設備「そらべあ発電所」を寄贈する「第43回そらべあスマイルプロジェクト」の募集を開始します。

そらべあスマイルプロジェクトは、そらべあ基金の主な活動である「再生可能エネルギーの普及・啓発」に向けた実践的な取り組みのひとつです。本プロジェクトは2008年から始まり、これまでに全国の幼稚園・保育園で合計59カ所に「そらべあ発電所」を寄贈してまいりました。

第43回目となる今回は、ソニー損害保険株式会社の協賛をいただき、1基の太陽光発電設備(3kWh相当)と、停電などの非常時や節電対策の電源として注目を集めている「ソニー製ホームエネルギーサーバー」を寄贈します。なお、同社の寄付で寄贈された太陽光発電設備はこれで合計20基目となります。

(ホームエネルギーサーバーHP : http://www.sony.jp/battery/lineup/home_energy_server.html)

そらべあ基金では、本プロジェクトを通じて、子どもたちに環境の大切さを学んでもらうと同時に、CO2の排出が少ない再生可能エネルギーの創出・普及に向けた実践的な取り組みを行なってまいります。

【プロジェクト実施概要】

募集期間:2017年1月18日(水)~2月15日(水)※書類必着

設置数:全国で太陽光発電設備(3kW相当)1基

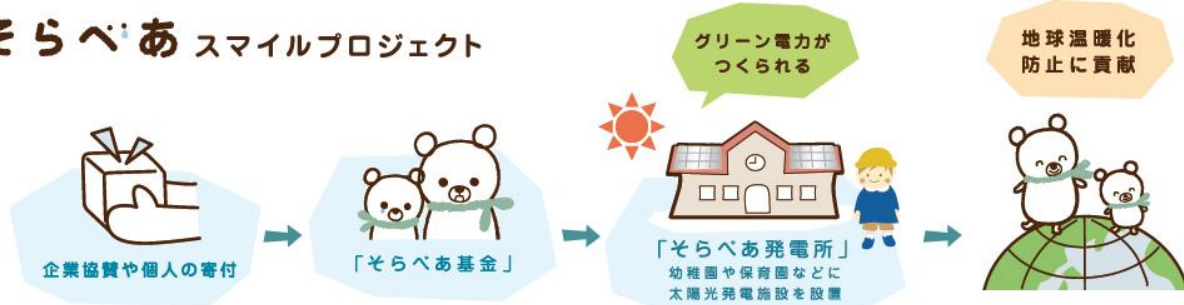
応募方法:申込書類一式(※)に必要な事項をご記入いただき、当事務局までにメールにてお送り下さい。

選考結果の最終発表:2017年3月予定

寄贈時期:2017年4月予定

※応募要件などの詳細はそらべあホームページにて掲載しています。→ URL <http://www.solarbear.jp/>

そらべあスマイルプロジェクト



■ そらべあ基金とは ホッキョクグマのキャラクター「そらべあ」をシンボルに、地球温暖化防止のため、風や太陽のエネルギーを使って発電された再生可能エネルギーの普及活動や、未来を担う子どもたちへの環境教育を行うNPO法人です。

■ 「そらべあ」とは 地球温暖化の影響で北極の氷が割れ、お母さんグマと離ればなれになってしまったホッキョクグマの兄弟「そら」と「べあ」。キャラクターデザインは、Shinzi Katohの手によるものです。



【問い合わせ先】そらべあ基金事務局(担当:松田)

〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階

TEL:03-3504-8166 FAX:03-5157-3178 E-mail:info@solarbear.jp